



9月9日は「救急の日」です

# 救える命は救いたい。

## 適切な救急車の利用にご協力ください

軽い症状で救急車を呼んだり、救急車をタクシー代わりに呼んだりすることが社会問題になっています。緊急ではない場合に救急車を呼んでしまうと、本当に救急車を必要とする人のところへの到着時間が遅くなります。

救急車は緊急事態へ対応するための車両です。利用について理解を深めていただき、一刻を争う命を救うため、ご協力ください。

## このような出動要請はご遠慮ください

- 「救急車でいったら早く診てくれるき」
- 「お酒を飲んじゃうきかかりつけ医へ車で行けん」
- 「ダニにかまれてかゆくてたまらんき病院へ連れて行ってほしい」
- 「病院がわからんき救急車で連れて行ってほしい」

## 尊い命を救うため、ぜひお読みください

救急車利用マニュアル

検索

「救急通報のポイント」「ためらわず救急車を呼んでほしい症状」救急車を呼ぶ場合の「救急車の呼び方」などが掲載されています。

救急車を呼ぶほどではないが、「どこの病院に行けばいいかわからない」ときにご利用ください。

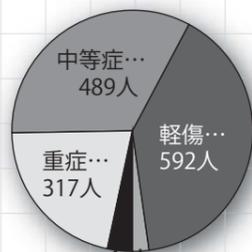
救急医療情報センター  
病院情報提供サービス  
☎088-825-1299

24時間  
対応

## 香南市の救急出動はどれぐらい？

香南市消防署では、年間約1,600件の救急出動があり、救急車2台で対応しています。市内人口で割ると、約22人に1人が利用したことになります。昨年の出動は1,638件で、実際に病院へ搬送した内訳は下図のとおりです。

香南市の搬送人数(平成26年) 合計1,435人



- 死亡…初診時において死亡が確認されたもの。
- 重症…傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの。
- 中等症…傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- 軽症…傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

同乗をお願いします



病院での緊急処置への家族の同意や症状の急変に備えて、救急搬送の際にはご家族の方は同乗してください。

# 今居る「高さ」を確認しよう!

市内の集会所や公民館、電柱などに海拔を表示する看板を約500カ所、また浸水区域内には想定される津波の「最大浸水深」と「30cmの津波到達時間」を表示した看板を約100カ所に設置しています。

皆さんの地域の海拔はどのくらいなのか、また出かけた先でも看板を日ごろから確認して、万が一津波が発生した場合の避難に役立ててください。



## point 1// なぜ30cm表記なの?

30cmの水位は大人でもひざ下近くになります。もしこの高さまで水が流れてきたら、避難だけでなく歩くことさえ困難になるため30cmを基準としています。この到達予想時間を避難の目安にしてください。



最大浸水深と到達予測時間は現在想定されている予測です。もしもの時は自己判断で早急に避難してください。

## ? -私の家は海拔何メートル?-



家の近くに海拔表示がないから高さがわからないよ…

check!

防災対策課へご連絡ください 海拔を調べてお答えします!



## 夏休み子ども防災合宿を開催しました

7月29(水)・30日(木)に香我美市民館で1泊2日の夏休み子ども防災合宿が開かれ、香我美町内の小学3～6年生25人が参加。災害時に役立つ知恵を学びました。

市民館が避難所になった想定で話し合い、「階段を上がるのがしんどい人は1階に」や「赤ちゃんと一緒に人は気兼ねないように端っこ部屋に」などと発表。食事づくりではヘルスメイトの指導で牛乳パックで器やスプーンを作ったり、ポリ袋炊飯やツナ缶カレーに挑戦しました。また、身の回りにある物でできる応急手当も学び、子どもたちは「災害時には一人でも多くの人を助けたい」などの感想を述べ、有意義な合宿となりました。



9月下旬～  
10月上旬

## 防災行政無線の試験放送を行います

『こちらは、防災香南市です。ただ今、防災行政無線の試験放送中です』

防災行政無線の整備工事に伴う試験放送を行います。「放送が聞こえない」など、お気づきの点がございましたら防災対策課までお知らせ下さい。

